

平成 27 年度 児童福祉施設等職員基礎研修会 実施計画

<時間割>

講義①→10:00～11:30 昼休憩→11:30～12:45 講義②→12:45～14:15 ③グループディスカッション→14:30～16:00

※5/29 は、特別講演（13:00～15:30）となっております。時間にご注意ください。

※昼食は各自でとるようにお願いいたします。

※グループディスカッション

テーマに沿った議題をもとに、各受講者の感想や気付き、これまでの業務への振り返りなどを話し合います。各グループにはファシリテーターが配置され、進行します。

開催日	テーマ	目的	講座	講師	申込み期限
平成 27 年 5 月 12 日(火)	テーマ 1 子どもの安全・ 安心を守るため に	入所児童の安全・安心の保障は、職員一人一人に責任が伴う重要なテーマです。 防災と保健衛生について、その取り組みや具体的方法、職員としての心構えなどについて学びます また、子どもへの権利侵害を防ぐための必須事項について学びます。	①-1 施設における防災について	竹下敏 法人防災委員長（鳥取こども学園）	平成 27 年 5 月 1 日（金）
			①-2 保健衛生と感染症対策について	竹森香理 統括看護師 （鳥取こども学園乳児部）	
			②権利擁護と施設内虐待防止の基本	水野壮一主任児童指導員 （鳥取こども学園希望館）	
			③グループディスカッション		
平成 27 年 5 月 29 日（金） 13:00～15:30	特別講演 テーマ 愛着について学 び考える	人は、乳幼児期に特定の人に愛されることによって愛着が芽生え、心の安定基盤を築いていきます。愛着形成がうまく出来ていないと、愛着障がいを引き起こし、健全な成長が難しくなります。愛着形成の重要性を理解したうえで、施設という集団生活のなかでどのような視点で愛着形成の営みを行えば、すべての子どもたちを守ることができるのか学びます。	愛着形成の重要性と集団養育のなかでの愛着形成の営み	澤田 敬（高知県小児科医師） ・NPO 法人カンガルーの会 理事長 代表著書 「甘え子育てのすすめ」	平成 27 年 5 月 22 日（金） ※夕刻より 法人主催懇親会 予定

開催日	テーマ	目的	講座	講師	申込み期限
平成27年 6月9日(火)	テーマ2 OJT とチームワーク支援	一人前の職員として成長し、職務を全うできるようになるためには、実務を通してなされる OJT が重要となります。 且つ、その力はチームワーク支援の中で発揮されなくてはなりません。 ここでは、チームの中で職員が育つことを学びます。	①チームワーク支援の重要性とポイント	山本隆史主任児童指導員 (鳥取こども学園)	平成27年 6月2日(火)
			② OJT の概念と活用のポイント	水野壮一主任児童指導員 (鳥取こども学園希望館)	
			③グループディスカッション		
平成27年 7月14日(火)	テーマ3 乳幼児への養育と支援について	乳幼児養育は、その子どもの核を形成し、その後の思春期・青年期に多大な影響を持ちます。社会的養護は「幸せな乳幼児期」を保障する責務があり、そこには高邁な理想と専門的支援が必要です。	①乳幼児養育の大切さ	田中佳代子 院長 (鳥取こども学園乳児部)	平成27年 7月7日(火)
			②施設における乳幼児への専門的支援	竹中成代 主任保育士 (鳥取こども学園乳児部)	
			③グループディスカッション		
平成27年 9月8日(火)	テーマ4 心理治療について	施設における心理治療と、その役割についてわかりやすく説明したうえで、心理士との連携と情報共有のあり方や、支援への生かし方学びます。	①子どもの心理臨床	山下学副館長 (鳥取こども学園希望館)	平成27年 9月1日(火)
			②-1 施設における心理士の役割	田村千亜紀心理士 (鳥取こども学園)	
			②-2 心理士と生活支援の連携について	水野壮一主任児童指導員 (鳥取こども学園希望館)	
			③グループディスカッション		

開催日	テーマ	目的	講座	講師	申込み期限
平成27年 10月13日(火)	テーマ5 子どもとの関わり を学ぶ 学童期～思春期	子どもと共に生活をしたり、支援していく際に、成長・発達段階における支援の要点を知っておくことが大切です。 ここでは、学童期と思春期に分けて、経験豊富な支援者からそれを学びます。	①子どもとの関わり 【学童期編】	前田佳寿美主任保育士 (こどもの家かつらぎ ホーム長)	平成27年 10月6日(火)
			②子どもとの関わり 【思春期編】	藤野謙一副館長 (鳥取こども学園希望館)	
			③グループディスカッション		
平成27年 11月10日(火)	テーマ6 自立について考える	私たちの仕事は、最終的に「適切な自立」へと集約されますが、そのためには自立に対する正しい理解が不可欠です。 法人の中で最も自立に近く、濃く深い自立支援を行う自立援助ホームと若者サポートステーションから、その理念と支援を学びます。	①個別的自立の概念と支援の実際	星見元史 所長 (若者サポートステーション)	平成27年 11月2日(月)
			②自立援助ホームにおける支援と施設養育への提言	田村崇 寮長 (自立援助ホーム 鳥取スマイル)	
			③グループディスカッション		
平成27年 12月8日(火)	テーマ7 地域小規模児童養護施設について学ぶ	社会的養護の課題と将来像において、「より家庭的な養育環境」は重要なポイントであり、施設養護において最もそれを体現する形態のひとつとして「地域小規模児童養護施設」があります。 その意義と支援の実際を学び、受講者の業務への活用と連動を目的とします。	①地域小規模児童養護施設の意義と設置の重要性	吉田裕治 副園長 (鳥取こども学園)	平成27年 12月1日(火)
			②支援の実際と子ども達の様子	坂口泰司 保育士 (子どもの家あかり ホーム長)	
			③グループディスカッション		

開催日	テーマ	目的	講座	講師	申込み期限
平成28年 1月12日(火)	テーマ8 障がいを抱えた 児・者への支援と社 会資源	障がいを抱えて、社会的養護を必要とする子どもや保護者がいます。 適切かつ役立つ支援において、その理解と援助者としての姿勢を学びます。 また、障がい児・者支援における社会資源や制度についての知識を得ます。	①障がい支援において大切なこと	岡田佳那子 保健師 (こころの発達クリニック)	平成28年 1月5日(火) ②協力講師 はまむら作業所 山岡宏樹管理者
			②障がい支援のための社会資源と制度	内藤直人 寮長 (自立援助ホーム 鳥取フレンド)	
			③グループディスカッション		
平成28年 2月16日(火)	テーマ9 子どもの発達について	施設での養育や支援において、「発達」的な視点は知識として必須です。 この研修では、乳幼児期～青年期までの基礎的な発達段階の特徴を学び、実際にアセスメントや見立て、支援にどう役立てるのかを学びます。	① 乳幼児期～学童期の発達	内藤綾子 心理相談員 (鳥取市こども発達・ 家庭支援センター)	平成28年 2月9日(火)
			② 学童期～青年期の発達	河津史子 主任セラピスト (鳥取こども学園希望館)	
			③グループディスカッション		